

農業委員 レポート

耕作放棄地を減らすため ～畑地帯整備事業～

市内の畑を見ていると、耕作放棄地や管理はしているが作付けしていない畑が多くなっています。

その理由として共通することは、形状の悪い畑や排水の悪い畑などが多く、貸したいと思っても借り手が見つからないことが原因だと考えられています。

市の東部、尾崎地区では若い後継者が多く、ニンジン・レタス・ニガウリ等の露地野



▲尾崎地区の畑地帯整備事業の全景。不整形な畑がきれいに再区画されます



▲今年もおいしい白菜が収穫できました



▲次世代の担い手である若手農業者たち

菜が盛んに栽培されています。この若い後継者のためにも、耕作しやすい農地にする畑地帯整備事業が始まっています。

当事業の会長である中村良夫さんは「この事業の話が始まってから約10年がたちました。粘り強く話し合いを行い、全員の同意を得て一昨年から工事が開始されました。5年計画で約74ヘクタールの畑が整備されることにより、各農家の経営拡大が図られ、最近増えている耕作放棄地もなくなると思いますよ」と明るい未来に期待を募らせます。

農業者の自己負担を最小限にするためにも国・県の色々な補助事業を上手に組み合わせることが必要であり、県や市などの関係機関の協力を得ながら話し合いを進めることが大切だと思いました。

農業者の減少や高齢化が進む現在、私たちの食生活を守るためにも、野菜など作物の生産性向上や利便性向上は必須です。そのためにも、耕作放棄地を減らすために有効な畑地帯整備事業を積極的に考えることが重要になります。

また、農地を所有している人は、耕作できないからといって放棄をするのではなく、賃貸などを検討し、私たち農業委員に相談してください。

